

JAF京都広報2015-040

2015年9月29日

「セーフティトレーニング

ASV(先進安全自動車)半日コース」を開催しました。

【主催】日本自動車工業会、全日本交通安全協会、日本自動車連盟

【後援】警察庁、国土交通省、京都府警察本部、京都府交通安全協会

JAF京都支部（森川莫臣支部長）は、日本自動車工業会、全日本交通安全協会とともに、「セーフティトレーニングASV（先進安全自動車）半日コース」を（一財）京都府交通安全協会自動車練習場（京都市）にて平成29年9月26日、開催いたしました。

京都府内から一般ドライバー17名の参加をいただきました。

講習内容は、初めに車の死角確認とタイヤの点検とエアバッグの展開実験を行いました。次に各ドライバー自身の車を使用しスラローム走行をおこない、スムーズなハンドル操作とスムーズなアクセル操作を練習して頂きました。その後、正しい運転姿勢の指導をし、再度スラローム走行を行って頂きました。また、信号システムを使った反応ブレーキでは反応時間と空走距離について講習しました。最後のASV（先進安全自動車・スバル・インプレッサ）体験では、衝突被害軽減ブレーキの体感をした参加者から、「ヒューマンエラーが防げ、事故軽減につながる」や「万が一の時の安心感がある」等の感想が寄せられました。

JAF京都支部では、体験型講習会を通じて、一人でも多くのドライバーに正しい知識と運転技術を学んでいただきたいと考えています。今後は、同様の体験型講習会として、実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会エコトレーニングを、冬に予定しています。



信号システムを使った反応ブレーキ



衝突被害軽減ブレーキ体験

この速報に関するお問い合わせは、
京都支部事業課 電話 075-682-6000
担当 山崎へお願いします。